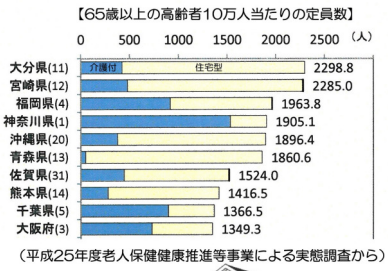
介護付有料老人ホーム
グランドホーム古国府
すまいる

発行元
二階堂酒造グループ
喜和屋運輸(有)
グランドホーム古国府
〒870-0844
大分市大字古国府844
TEL　097-573-6353
http://furugo.net

適正な運営を再確認

有料老人ホームの管理者対象に集団指導講習会開催～大分市～

この2、3年の間に、大分市内でも急増している有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅。大分県内では、すでに200施設を超え、65才以上の高齢者10万人に対する定員数は、全国1位となっています。つまり、必要以上に施設が整備されていると言うことになります。このことは、施設の運営に大きな影響を与えることはもとより、サービスの質の低下や人員体制の不備などにつながる恐れがあります。



（平成25年度老人保健健康推進等事業による実態調査から）

このような状況の下、大分市内の施設管理者を対象に、監督部署である大分市による集団指導が、6月20日（金）開催されました。

市内の施設数も100を超えており、その8割は住宅型有料老人ホームで、訪問介護やデイサービスなどの事業を併設したところが多いようです。

まず、実地指導の監査体制の説明がされた後、昨年度実地された15施設への監査報告がありました。そのなかで、特に留意しておくべき事項として、介護記録など書類の管理保管が事業所区分ごとに保管されていないことや、市に報告すべき事故についての徹底、運営懇談会の定期的な開催及び協議記録の保管などの指導がありました。

例年以上に新聞紙上で目につく不適正な運営の実態ですが、他人事と思わず、現状を見つめ直すことを痛感した研修でした。

回を重ねる度に活気増す研究会

東北大川島教授を迎え11月にシンポジウム開催

去る7月12日（土）日田市の有料老人ホーム「ケアマンションひだか」を会場にして第7回大分学習療法研究会が開催され、首藤施設長と若松介護士が参加しました。

今年は11月に学習療法開発の第一人者である、東北大学の川島教授をお迎えし「大分シンポジウム」を開催する予定になっていることから、その成功を目指すための実行委員会も兼ねた研究会となりました。

会に先駆けて学習の様子を見学する参加者のみなさん

司会に発表に奮闘の若松CW

学習療法センター伊藤副代表の講評に耳を傾ける参加者

司会進行は、当施設の若松介護士が担当しました。まず「大分シンポジウムにむけて」をテーマに、研究会の会長でもある施設長が、開催の目的や当日のスケジュールなど留意点を説明していました。参加定員七百名の目標を達成するため、会員一人ひとりができることを個々に目標設定して欲しいとのことでした。

次に「学習療法を活かすには」をテーマに、各事業所から発表された事前アンケートを基にグループ討議が行われました。学習療法の導入目的やチャレンジしていることなどが話し合われました。各事業所の共通課題は「職員の意欲向上」対策の悩みでした。

交流会では、日頃の思いを語り合いました。冒頭、くもん学習療法センターの伊藤副代表がグループ討議の講評をしてくれました。学習者さんの変化を知るため必要性を話され、そのためには「記録力」「観察力」「コミュニケーション力」を学習療法を通して身につけて欲しいと言われていました。

最後に、副会長である、宇佐市和光園の吹田事務長が、施設の取り組みを地域に「魅せる化」をすることが大切。学習療法はそれが出来る重要なツールであるとまとめていました。

短冊に込めた願い、天まで届け！

～歌や踊りで七夕さまを楽しんだ～

皆様の
願い事が
叶いますように
♪♪

楽しくなって踊りだしました♪

フラボーイ達の素晴らしい踊りに
笑いが絶えませんでした。

また遊びに来るわ～
気持ち悪いと
いわないで～

あのころ～君は～若かった？！

入居者様

子育てをしながら、大分駅の裏にあった国鉄病院の調理師を１５年ほど勤めました。
仕事を離れてからは、孫の成長を楽しみつつ、家族で旅行に行くのが楽しみで、主人が戦地として行っていたバリ島や２回行ったハワイなどが特に思い深いです。
写真に写っているのは、
宮崎台に居た頃で２人目の
孫を抱いているところです。

職　員

小さな頃から活発だった私は、中学から軟式テニスを始めて、高校、短大とテニスの試合で全国を駆け回わりました。19 才の時には、それまでの努力が実り、大分県代表の国体選手に選ばれました。その後、グランドホーム古国府に就職し、結婚、出産を経て、またグランドホーム古国府に再就職させていただきました。
今では、家事、育児、仕事に奮闘しながら頑張っている２児の母です。

今月の選択メニュー

このコーナーでは、今月の選択メニューをご紹介します。
レシピが気になる方はホームページをチェックして下さいね

魚の塩焼き

魚の真のうま味を引き出すためにはミネラル分を含んだ天然塩を使ってみてはどうですか？

豚の角煮

脂肪分が気になる場合は調理法で茹でたりすることで脂肪分を落とすなど工夫を行うとカロリーを抑えられます

すまいる俳句

・ぼさぼさの　剪定終えて　木戸涼し
・久々の　荘門に迎ゆ　蝉しぐれ
・蝉涼し　裏戸の風の　入る部屋

８月行事予定

３(日)　夏祭り
２４(日)　夕涼み会
夏祭りではエイサーや色んな屋台があります。
ぜひお越しください

レシピの詳細については…
http://furugo.net/recipe.html をチェック！

小さな田んぼですくすく育て！

プランターで田植え

梅雨まっただ中のある日、この時期らしいイベントはないかと考えた職員から「田植えをしよう！」との企画が提案されました。田んぼとなるのは、４つのプランターです。

土は稲を作っている佐藤事務長の田んぼから持ってきました。苗は、安岐町の実家で植え終った残りを秦介護主任が提供してくれました。

田植え日よりとなったこの日、田植えには自信があると言う入居者様数名と職員で、プランターに入れられた土に水と肥料を入れて「代掻き」を丁寧に行い、立派なプランター田んぼが完成。

そこへ苗を少しずつ植えていき、20分足らずで田植え終了。この田んぼのすばらしいところは、車いすの方も植えることができるところです。皆さん昔の思い出を語りながら懐かしそうに作業していました。

田植えをしてから、３週目の苗は、右の写真のようにすくすくと元気に育っていますよ！

良くこねてから肥料をまき完成

慣れた手つきで植えてます

車椅子でも植えられます

田植から３週目すくすく育つ苗

居酒屋 来ちょくれ

うなぎが取り持つ笑いの宴！

今回は最近入居された３名の方々の歓迎会を兼ねた居酒屋となりました。

メインディッシュは、夏の始まりに精を付けて、夏バテを防ごうと「うなぎ」のご注文を受けご用意いたしました。

お客様５名、対応するスタッフ４名で始まった居酒屋。うなぎの効果なのか、美味しいものを食べながらの会話は弾むもので、いつもより笑いが多くあったようです。日頃もの静かな方も周りが盛り上がるにつれて、楽しそうに過ごされていました。とにかく笑いが絶えない楽しい居酒屋でした！またのご来店お待ちしています！

時間とともに笑顔が溢れる

健康便り

熱中症注意報発令！

夏本番をまえに気を付けていただきたい水分補給。私たちの体は、半分以上水分で出来ています。この水分が体温調節に重要な働きをしています。体内の水分が不足すると熱中症が起こりやすくなるんです。

一般的に、一日に失われる水分量は、呼吸や汗で1.2リットル、尿や便で1.3リットル。つまり一日に2.5リットルの水分補給が必要と言うことです。

「喉が渇いたなぁ」と感じる時は、すでに体重の２％の水分が失われています。夏場は特に、喉が渇いたと思う前にこまめな水分補給を心がけましょう。

水ではなく、麦茶やスポーツドリンクなどがお勧めで～す！

看護　山本

編集後記

梅雨も終わり、いよいよ夏本番です。施設でもそうめん流しや夏祭りなど夏のイベントがめじろ押し！

特に夏祭りは８月３日（日）開催で、ＮＢＵの学生によるエイサーに始まり、屋台など美味しい企画もあります。ご家族でお出かけください！